

## 校内研資料（1 1/2 2）

### 1 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」って？

#### ・1時間1単元の目標・評価規準を理解して授業する

1時間の評価規準は一人一人の子どもにつける力を示しています。しっかり確認して授業に臨んで下さい。

教材研究は必須です。教師が知識・技能がないと教育は成立しません。

我々は「教える」ことが仕事です。そのためには教える内容を把握することは当然の仕事です。

#### ・「共学び」のポイントは？

個々が十分に課題を共有することが大切。「何を学ぶか」理解していないと共学びは成立しません。

また、課題を提示したらその答え（単純に答えだけでなく、その導き方も含め）を教師は当然持っているはず。その答えに近づくよう補助発問や助言が必要。「共学び」の後、しっかり答えに至るまでの「解き方・考え方」を教えるのは教師の役割。

### 2 ノート指導

#### ・一人一人のノートを丁寧に指導する。

課題があるとすれば原因は何か追究する。指導力に課題があるとすれば職員間で共有し共に解決していく。

### 3 教師の仕事は？

・教師は個業ではありません。共に協力し合い補い合い学びあってこそ教育活動は健全に保たれます。子どもの課題を把握し改善する努力は必須。

・休日勤務の場合は振休、また業務内容の精選、事務の効率化により労働条件は保障しなくてはならない。しかし、子どもの学力を伸ばす努力は無限。（個々の教師の力量が問われる）

・ジョン万 SPIRIT の一つ「決して他のせいにしなない」

学力がつかないのは 子どものせい・・・家庭のせい・・・

忙しいのは ○○のせい ですか？

## 凡士徹底

○「授業スタンダード」「学び方 book」の活用

○見通しボード

○ノート指導

○1年間通して「単元テスト」「理科課題別問題集」「算数シート」「国語シート」

「過去問題」に取り組む。課題発見型授業と習熟に向けての取り組みはスパイラルに。